

ドキュメンタリー

「座・高円寺」

フェスティバル

Vol.1

ZA-KOENJI
Documentary
Festival 第17回特集◆

情熱と熱狂

特集◆子どもが見つめた高円寺

2.7日 11:00 | 上映

高円寺のキニナルを調査せよ！

監督:子どもたち 2026年 | 未定

高円寺の“キニナル”疑問を子どもたちが徹底調査。街の片隅で見つけた不思議な本棚や、古着屋さんが多い謎、なぜこれほど阿波踊りが有名なのかななどの3つの「ハテナ」を題材に、小学生から中学生までの子どもたちがドキュメンタリー作りに挑戦した。企画、撮影、編集の全てのプロセスに取り組み、子ども目線で街や人々を描いている。



高円寺/みんなの作業場/の久保真央

★無料参考上映

上映終了後 ― 監督挨拶

カメラマン特集◆宮島義勇

2.7日 13:00 | 上映

西陣

(16mm上映)

監督:松本俊夫 撮影:宮島義勇 1961年 | 26分

前衛的記録映画のパイオニア・松本俊夫監督の短編作品。撮影は「人間の條件」など数々の名作を撮影した宮島義勇。高級絹織物の西陣織や西陣という土地についてのPR映画を狙ったものではなく、短いクロース・アップのショットを多用し、閉塞した空間の鬱屈に、安保闘争後の空洞感や不在感をイメージに重ね合わせている。



13:30 ―トーク

ゲスト 筒井武文 映画監督

山崎裕 カメラマン、プログラムディレクター

特集◆情熱と熱狂

2.7日 15:00 | 上映

非常戒厳前夜

監督:キム・ヨンジン 2025年 | 111分 | 韓国

2024年12月3日のユン・ソンニョル大統領による突然の「非常戒厳」宣布から始まった韓国の混乱。200万人規模のデモが重ねられ、立ち上がった市民たちは大統領弾劾を実現した。無謀な「非常戒厳」を宣布した背景には、ユン政権によるメディア弾圧と、対抗したジャーナリストたちとの闘いがあった。弾圧と戦った「ニュース打破」の製作作品。



©KCJL Newstapa

16:55 ―トーク

ゲスト キム・ヨンジン 本作監督、ニュース打破

ゲスト◆セレクション

◆セレクション

大島新

2.8日 16:00 | 上映



©2025 GODOH 沖縄

ウナイ 透明な間 PFAS汚染に立ち向かう

監督:平良いずみ 2025年 | 106分

2016年、沖縄県は県民が飲んできた水道水にPFAS・有機フッ素化合物が含まれていたと発表した。生まれたばかりの息子が水道水でつくったミルクを与えていた監督は「絶対、許さない」と5年に渡る執念の取材を始めた。世界の至る所で汚染問題の解決を求め立ち上がった女性（ウナイ）たちと出会い、彼女たちの人生を見つめた記録。



17:50 ―トーク

ゲスト 大島新 ドキュメンタリー監督

平良いずみ 本作監督

◆セレクション

是枝裕和

2.8日 19:00 | 上映



戦後80年 内田也哉子ドキュメンタリーの旅 戦争と対話 #6いのちと向き合う

ディレクター:中村育子 プロデューサー:手塚孝典、三瓶祐毅 企画:阿武野勝彦 2025年 | 97分 | 信越放送

戦没画学生集めた美術館「無言館」の共同館主となった内田也哉子が信越放送のドキュメンタリー番組を手掛かりに旅をし、戦争とそれに連なる戦後社会を考えるシリーズ。「民教協スペシャルいのちと向き合う〜皆の宗・高橋住職の挑戦〜」(2003)を題材に内田が高橋住職を訪ね、佐喜真美術館・館長の佐喜真道夫と対話する。

20:40 ―トーク

ゲスト 是枝裕和 映画監督

内田也哉子 文筆家、「無言館」共同館主

◆セレクション

安田菜津紀

2.9日 16:00 | 上映



©2024 ANTIPODE FILMS, YABAYAY MEDIA

ノー・アザー・ランド 故郷は他にない

監督:バーセル・アドラー、ユヴァル・アブラハム、ハムダーン・バラール、ラヘル・ショール 2024年 | 95分 | ノルウェー、バレスチナ

破壊される故郷を撮影し続けるパレスチナ人青年バーセルと、彼に協力しようと危険を冒してその地にやってきたイスラエル人ユヴァルによる決死の活動を、2023年10月までに渡って記録。不条理な現実を、緊迫の映像であふりだす。支え合う二人の姿と、その上で見えてくる非情な現実が観客にパレスチナのリアルを訴えかける。



17:35 ―トーク

認定NPO法人 Dialogue for People副代表

フォトジャーナリスト

ゲスト 安田菜津紀

ドキュメンタリーは個人の持つ熱い思い“情熱”を見つめ、信念を伝え、表現する人々の声を届ける役割を担ってきた。その情熱が大衆に広がった時、何が起きるのか？ドキュメンタリーはプロパガンダとして利用され“熱狂”を生み出してきた歴史もあわせ持っている。リアリティが無数の映像によって翻弄されている今の時代だからこそ、「情熱と熱狂」という二つの言葉でドキュメンタリーを捉え直し、私達の明日を考えてみたいと思います。

——山崎 裕(プログラムディレクター)

特集◆東日本大震災から15年

2.9日 10:00 | 上映

ロッコク・キッチン

監督:川内有緒、三好大輔 2025年 | 122分

2011年に発生した大震災は、人々の日常を奪い福島に深い爪痕を残した。それから月日が経ち、被災地には、帰還した住民や移住してきた人、仕事のために訪れる人など、多様な背景を持つ人々がいる。福島県の国道6号線(通称「ロッコク」)沿いで生きる3人の食卓を軸に、その日常や人生を軽やかに描き出すドキュメンタリー。



12:05 ―トーク

ゲスト 川内有緒 本作監督、ノンフィクション作家

特集◆情熱と熱狂

2.9日 13:15 | 上映

ラーメンヘッズ

監督:重乃康紀 2017年 | 93分

「中華蕎麦とみ田」店主・富田治への1年以上に及ぶ密着取材を中心に、日本のラーメン文化の秘密に迫るドキュメンタリー。スープと麺への異常なこだわりや、休日のラーメン屋巡りなど、公私問わずラーメンと共に生きる富田は、まさにラーメンバカ(＝ヘッズ)。そんな彼が店の10周年記念に取り組んだ至高のラーメン作りとは。



©キッパン

14:50 ―トーク

ゲスト 重乃康紀 本作監督

第17回「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル

コンペティション部門 入賞作品上映

映画・テレビ・自主制作 ――新しい才能を全国から発掘！

2.10日 10:00―入賞作品上映 18:10―入賞作品・大賞表彰式 18:30―終了予定

【審査員(予定・敬称略)】

シライケイタ(劇作家、演出家、俳優、座・高円寺芸術監督)

橋本佳子(映像プロデューサー) 足立正生(映画監督)

大島新(ドキュメンタリー監督) 林加奈子(元 映画祭ディレクター)

ゲスト◆セレクション

◆セレクション

諏訪敦彦

2.9日 19:00 | 上映



©Makhsabz Film House

子どもたちはもう遊ばない

監督:モフセン・マフマルバフ 2024年 | 62分 | イギリス、イスラエル、イラン

2023年10月のハマス襲撃後のエルサレムの街を、イスラエルとパレスチナの紛争に解決の糸口はあるのかと訪ね歩く。街角に佇む老人、パレスチナ系ティーンのダンスグループ、ユダヤ系の若者など、様々な人々をスマートフォンの撮影で見つめ、エルサレムの重層的な複雑さと、若者が体現する微かな希望をそのまま描き出す。

20:05 ―トーク

ゲスト 諏訪敦彦 映画監督

モフセン・マフマルバフ 本作監督

通訳:ジョーレ・ゴルバリアン



◆セレクション

金平茂紀／森達也

2.10日 19:00 | 上映



日本の悲劇

編集:亀井文夫、吉見泰 製作:岩崎昶 製作会社:日本映画社 1946年 | 39分

満州事変から太平洋戦争に到る侵略戦争の歴史を、日本ニュースを中心に各種映像を用いて明快に解説した。日本資本主義の支配階級は、外国市場を手に入れるために戦争を計画遂行、侵略は資本家を太らせたが人民は窮乏の生活を強いられた。ファシズムの台頭により始まった日本の悲劇を描いた本作は、一般公開後、すぐに上映禁止となった。

19:40 ―トーク

ゲスト 金平茂紀 ジャーナリスト

森達也 映画監督、作家



◆セレクション

犬童一心

2.11日 15:30 | 上映



©2021 日本1125611 踊り(製作委員会)

名付けようのない踊り

脚本・監督:犬童一心 2021年 | 114分

アニメーション:山村浩二 配給:ハビネットファントム・スタジオ

世界的なダンサーとして活躍する田中泯の踊りと生き様を「メゾン・ド・ヒミコ」(05)への出演オファーをきっかけに親交を重ねてきた犬童監督が追った。2017年から2019年まで、ポルトガル、パリ、東京、福島、広島、愛媛などを巡りながら撮影。同じ踊りはなく、どのジャンルにも属さない(場踊り)を見つめる多幸感に包まれる作品。



17:25 ―トーク

ゲスト 犬童一心 本作監督

田中泯 本作出演／ダンサー